

餅 草

雑草の中には普通の野菜にない風味や香りなどがあって、食用に供され、珍重されているものが色々ある。その一つ、ヨモギは餅草になって春の香りを茶の間に運んでくる。餅草には古くはホオコグサが用いられたと言われる。これは、春の七草のオギョウである。ハハコグサとも言われて、母子とも健康であることを祈念する意味合いで餅草にされたが、母と子をきねでつぶすのはよくないと、ヨモギが用いられるようになったという言い伝えもある（筑波常治：農業博物誌、1978）。江戸中期に餅草としてはヨモギの方が高級品だという知見が伝来したからだとも言われる。ヨモギの方が量的に集めや

すい点では勝る。ヨモギにも色々な系統があるようで、風味などの良い系統が選ばれていると聞く。ヨモギに勝るものとして俗にヤマゴボウと言われる野草、オヤマボクチがある。これを餅草にすると、ヨモギよりも黄色が強く、色では落ちるかも知れないが、風味で勝ることは北陸地方などでは広く知られている。

ヨモギの葉裏の綿毛はもぐさとして利用されるが、ここに挙げたキク科の3種はいずれも葉裏に白い毛が密生しており、綿毛の多いことも餅草の要件であるらしい。餅草の若芽をこね混ぜた餅や団子は春の風物詩である。

（財）日本植物調節剤研究協会 技術顧問 片岡孝義）

●農業は正しく使いましょう！

鋭い一発
雑草ハンター

水田雑草の除草に
武田 ゴルボ 粒17 剤25

GORBO 17/25

ゴルボ普及会 武田薬品・日本チバガイギー・デュポン ジャパン リミテッド

水田除草、新時代